

**「髄膜腫におけるテロメア維持機序・遺伝子異常と臨床経過の比較検討」
（旧課題名：髄膜腫のテロメア維持機序と臨床経過の比較検討）に関する
お知らせ**

大阪大学医学部脳神経外科では、「髄膜腫におけるテロメア維持機序・遺伝子異常と臨床経過の比較検討」（旧課題名：髄膜腫のテロメア維持機序と臨床経過の比較検討）と題した臨床研究を行っています。

本研究実施に際して、お問い合わせや、患者さんもしくは患者さんの代理人の方により、臨床研究への参加についてご了承頂けない場合は、研究対象として利用しないようにしますので、以下連絡先までお申し出下さい。

【研究責任者】

香川 尚己（脳神経外科 講師）

【連絡先】

大阪大学医学部脳神経外科

大阪府吹田市山田丘 2-2

TEL: 06-6879-3652 FAX: 06-6879-3659

Mail: nkagawa@nsurg.med.osaka-u.ac.jp

.....
【研究課題名】

髄膜腫におけるテロメア維持機序・遺伝子異常と臨床経過の比較検討（旧課題名：髄膜腫のテロメア維持機序と臨床経過の比較検討）

【研究の対象となる患者さん】

- ① 平成 29 年 8 月 21 日以降に、当院において髄膜腫の手術を実施され、すでに本研究への参加に同意された患者さん
- ② 平成 9 年 1 月 1 日から本研究開始日（平成 29 年 8 月 21 日）までに、当院において髄膜腫の手術を実施された患者さんで、手術で摘出された腫瘍組織標本の残余および臨床情報の記録が残っている患者さん

【研究の目的、試料・情報の利用目的】

本研究では髄膜腫におけるテロメア長やテロメラゼ活性、遺伝子異常や関連する遺伝子の発現について解析を行い、臨床情報や臨床経過と比較することにより、髄膜腫における生物学的特性との関係を明らかにすることを目的とします。

【研究の方法、試料・情報の利用方法】

患者さんの臨床情報や、手術で摘出され臨床上必要な検査に使用した残余の腫瘍組織の一部をご提供いただき、研究に利用します。腫瘍組織に対して、病理学的・免疫組織学的検索やテロメア・テロメラーゼに関連する DNA や RNA、たんぱく質の解析を行います。又、髄膜腫の腫瘍組織における既知の遺伝子変異（TERT プロモーター, NF2, TRAF7, KLF4, AKT1, SMO, CDKN など）、関連する遺伝子の発現の解析を行います。解析結果と患者さんの臨床情報との関連について、統計学的解析を行います。

この研究は平成 32 年 3 月 31 日まで行う予定です。

【研究に利用し、提供する試料・情報の項目】

（研究に用いる試料）

手術で摘出され、臨床上必要な検査に使用した残余の腫瘍組織
（凍結腫瘍組織試料・ホルマリン固定パラフィン包埋組織試料）

（研究に用いる臨床情報の種類）

基本情報（年齢、生年月日、性別、腫瘍発生部位）
検体採取手術時の情報
治療内容、その後の経過
放射線診断結果（CT・MRI 画像、PET 画像等）
血液検査結果
病理診断結果
など

【個人情報等の取り扱い】

研究の対象となる試料や臨床情報から氏名等の特定の個人を識別することができることとなる記述等を削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて匿名化を行います。研究対象者とこの符号又は番号を結びつけている対応表や、研究の際に使用する個人情報は外部の漏れないように厳重に保管されます。

【外部解析機関との試料・情報のやりとり】

本研究では当院において実施できない解析について、下記の解析機関と腫瘍組織や DNA や RNA・解析情報のやりとりを行います。個人に関する情報が特定できないようにした上で（匿名化）、郵送・電子的配信により受け渡しは行われ、対応表は当施設の研究責任者が保管・管理します。

- ・サーモフィッシャーサイエンティフィック社
- ・BGI JAPAN
- ・フィルジェン株式会社